

# 栃木東中「東中だより」5月号



## 【学校教育目標】＜生きる力の育成＞

- よく考え、自ら学ぶ生徒
- 豊かな心と強い意志をもった生徒
- 健康で、自他の生命を大切にする生徒

## 【目指す学校像】＜経営の指針＞

竹のように、誰もが“いちずに天を目ざす”東筈学舎

## 【目指す生徒像】＜東筈の心得＞

- さわやかで、明るくあいさつができ、仲良く活動する。
- 忍耐強く、黙って清掃や作業に取り組む
- 目的をもって、いちずに学習・運動に励む
- 気品があり、場に応じた正しい言葉遣いができる。

平成25年 5月16日 発行 文責：石嶋和夫

## 東中丸のスローガンは、「shine」～誰よりも輝け～です

5月7日(火)、平成25年度生徒会総会が開催されました。  
東中丸の出航に当たり、池田会長があいさつをし、今年の航路を示しました。きっと素晴らしい航海になるでしょう。

みなさん、こんにちは。新年度になり、生徒会も新たにスタートを切りました。そこで、生徒会役員で今年度のスローガンを話し合いました。悩んだ末、決まったのが、「**shine**」～誰よりも輝け～です。この言葉は、「自分の持てる力を十分に発揮し、一人一人がさまざまな場所で輝く。」という意味を持っています。

そして、このスローガンは、公約である「挨拶の活性化」にもつながると思います。今年度から新たに始まった部活動ごとの挨拶当番もそうですが、挨拶当番を行うことによって、再び挨拶の重要性を確認することができ、気持ちのこもった素晴らしい挨拶をすることができれば、一人一人が持つ輝きが、さらに増すことになります。

よって、この東中がさらに良い学校になっていくと思います。そうすれば、私の一番の理想である、「**誰もが当たり前前のことが、当たり前前にできる学校**」に少しずつ近づいていくと思います。そのために、一人一人が生徒会会員として、そして東中生の一人として、東中の未来が良い方向に進めるように、みんなで、行動に移してみませんか。

生徒会総会は、そのような東中の未来のことを考え、東中生全員で話し合う重要な会です。生徒会総会資料には、各部活動の目標や委員会目標、会計予算案などさまざまなことが記載されています。記載されていることで、疑問に思うことや、意見を述べたいときには、このあとの議事で意見を言える場がありますので、どんどん意見を述べてください。東中を創っていくのは、生徒会役員ではなく、ここにいる生徒全員です。全員で素晴らしい東中を創り上げましょう。

## 【生徒会目標】

- 1 「自主・友愛・奉仕」の信条に基づいて、一人一人が東中生としての自覚をもつ。
- 2 お互いに助け合い、支え合う活動を通して、よりよい校風を築く。

## 【今年度重点目標】

- 1 あいさつの輪を広げよう。
- 2 目標に向かって部活動に取り組もう。
- 3 新しいことにチャレンジしよう。

## 【平成25年度 生徒会役員】

会長：池田 暉 君（3年）  
副会長：新井 冨佳さん（3年） 関口 真人 君（2年）  
書記：高村 奈摘さん（3年） 小池 玲央 君（3年）  
高江 柄友乃さん（2年） 小浪 健弘 君（2年）  
会計：稲田 巧典 君（3年） 久我 星奈さん（3年）  
大野 笑奈さん（2年）

## 【生徒会専門委員会の目標と委員長・副委員長】 全員3年生

【図書委員会】 渡邊 友里恵さん・久保田 優紀君

- ① 「1・1・1 読書運動」達成クラスを増やす。
- ② 「東筈の百冊」を読んで、心を豊かにする。

【生活委員会】 鈴木 佑香里さん・柳澤 千華さん

「昨日よりも良い東中」を目指し、正しいことを正々堂々とできる学校をつくる。

【環境委員会】 松本 七美さん・高岩 秀輔君

植物も生徒も元気に清潔に快適に過ごせる学校をつくる。

【保健委員会】 青木 真央君・中野 拓海君

常に生徒が健康でいられるようにサポートし、積極的に活動する。

【体育委員会】 生田 冨楠君・室井 里菜さん

自覚をもってリーダーシップをとり、全力で行事を盛り上げる。 ○ 服装の徹底 ○ ボールの整備

【給食委員会】 戸田 圭亮君・島 瑞穂さん

- ① 積極的に声をかけ、残量を減らそう。
- ② 仕事に積極的に取り組み、スピーディーにこなそう。

【ボランティア委員会】 栗原 光一君・木野 内和真君

学校や地域のために、クラスで積極的にボランティア活動に参加する。

【学習委員会】 福田 愛音君・須田 汐音さん

「自主学习」提出率を全クラス90%を達成する。

【放送委員会】 佐山 晴基君・竹渕 直翔君

1回1回の仕事を大切に、レベルの高い放送を目指す。

【学年プログラム委員会】 大出 隼斗君・柏崎 桃花さん

リーダーとしての自覚を持った行動をする。



池田 暉 会長のあいさつ



生徒会役員の紹介



各専門委員長の紹介



各部活動の部長の紹介

## 夏の総体で実力を発揮し、捲土重来を期そう！

5月10日(金)から春季下都賀地区大会が開かれました。どの部も、これまでの練習の成果を発揮して目標を達成しようと頑張りましたが、残念ながらほとんどの部が達成できませんでした。卓球男子シングルスで清水君が見事に**県大会出場**を果たしました。おめでとう。

【野 球 部】〔1回戦〕対南河内二中 惜敗

【バレーボール部】予選リーグ全勝で決勝トーナメント進出  
〔準々決勝〕対都賀中 敗北〔敗者復活戦〕対南犬飼中 敗北  
〔7位決定戦〕対壬生中 勝利

【男子バスケットボール部】

〔1回戦〕対桑中 勝利 〔2回戦〕対南河内二中 敗北

【女子バスケットボール部】 〔1回戦〕対美田中 敗北

【男子ソフトテニス部】

＜団体＞〔1回戦〕対皆川中 惜敗  
＜個人＞ 惜しくも県大会出場ならず

【女子ソフトテニス部】

＜団体＞〔1回戦〕対大谷中 敗北  
＜個人＞ 惜しくも県大会出場ならず

【サッカー部】

〔1回戦〕対栃木西中 辛勝〔2回戦〕対野木二中 惜敗

【卓 球 部】

＜男子団体＞ 予選リーグ突破〔大谷中・小山中〕  
決勝トーナメントへ〔皆川中〕敗北  
＜シングルス＞ 清水聖也君 県大会出場  
＜ダブルス＞ 2回戦進出ならず  
＜女子団体＞ 予選リーグ突破〔国分寺中〕  
決勝トーナメントへ〔小山城南中〕敗北  
＜シングルス＞ 惜しくも県大会出場ならず  
＜ダブルス＞ 3回戦進出ならず

【剣 道 部】

＜男子団体＞ 予選リーグ突破ならず〔東陽・小山・野木〕  
＜男子個人＞ 惜しくも県大会出場ならず  
＜女子団体＞ 予選リーグ突破ならず〔壬生・石橋〕  
＜女子個人＞ 惜しくも県大会出場ならず

## 生徒の落雷事故の防止対策について

### 1 基本的指針

生徒の屋外活動や下校に際して、落雷の予兆があった場合は、速やかに活動を中止させるとともに、落雷の危険性がなくなると判断されるまで、安全な場所に避難させるなど、生徒の安全確保を最優先に考慮し、対応すること。

### 2 具体的な内容

#### (1) 危険信号を早めにキャッチする。

入道雲は、落雷の危険信号です。さらに、黒い雷雲が近づくと、多くの場合は、突風が吹くとともに、気温が下がり、やがて激しい雨になります。

しかし、突風や降雨より落雷が先に起こることもありますので、早めの避難が大切です。雷鳴は、遠くに聞こえても危険信号です。

#### (2) すぐに安全な場所に避難する。※右側の欄に続く

## 第1回卒業生の皆様 ありがとうございました！

本校の**第1回卒業生の皆様**が、「喜寿」のお祝いを兼ねて“**同窓会**”を開き、その残金で母校の環境美化のために、季節の草花の苗とプランター、培養土・腐葉土をたくさん寄付していただきました。

4月24日(水)には、10名を超える第1回卒業生の皆様が来校され、上記の品々を搬入していただきました。

本校では、早速プランターに植えて、玄関・生徒昇降口・中庭等に設置するとともに、2・3年生の「技術科栽培」の授業でも苗を使わせていただき“一人一鉢”責任をもって栽培するようにしました。

生徒たちは、大先輩の皆様からの思いやりに感謝し、一生懸命に水をやり、自分たちの苗を育てています。



学校の玄関前に飾りました



玄関と特別棟の間にも



中庭（美術室・調理室の東）にも 一人一鉢用に使いました



## 3. 11を忘れない 全員が安全に避難

5月14日(火)6校時終了時に、「強い地震からの出火」を想定して“**避難訓練**”を実施しました。避難訓練は、「一人の被害者も出ることなく、全員が安全に避難する」ために行います。そのため、『**おかしも**』の徹底を目指します。

「お」 押さない  
「か」 駆(か)けない  
「し」 しやべらない  
「も」 もどらない

生徒たちは真剣に取り組み、「災害発生の放送」から「全員避難完了の報告」まで3分36秒でした。とても立派でした。

雷鳴が聞こえるということは、落雷の危険性があるということです。すぐに安全な場所に避難してください。校舎の中に逃げ込むのが、一番安全です。広くて平らな校庭は、危険な場所です。できるだけ姿勢を低くし、バットやラケットなどは、高く突き出さないようにしましょう。

※雷は、金属性の物よりも、より高いところ(物)に落ちます。

また、軒下や樹木の下、トタン屋根の小屋の中は、雷の被害を受けやすいので、しっかりした建物や自動車の中などにきちんと避難しましょう。

#### (3) 余裕をもって待機する。

雷雲が遠ざかって雷鳴が聞こえなくなっても、20分ぐらいは、まだ落雷の危険がありますので、屋外での活動を再開したり、下校したりせずに、気象情報を収集し、危険性がなくなるまで安全な場所で待機しましょう。

雷雨の状況によっては、下校時間を過ぎても校舎内に待機させるため、帰宅時間が遅れることがあります。

その際は、学校の電話を使用して生徒本人からご家庭に連絡するようにします。ご承知おきください。